

中部地方を襲った過去の主な災害事例

日本応用地質学会 中部支部



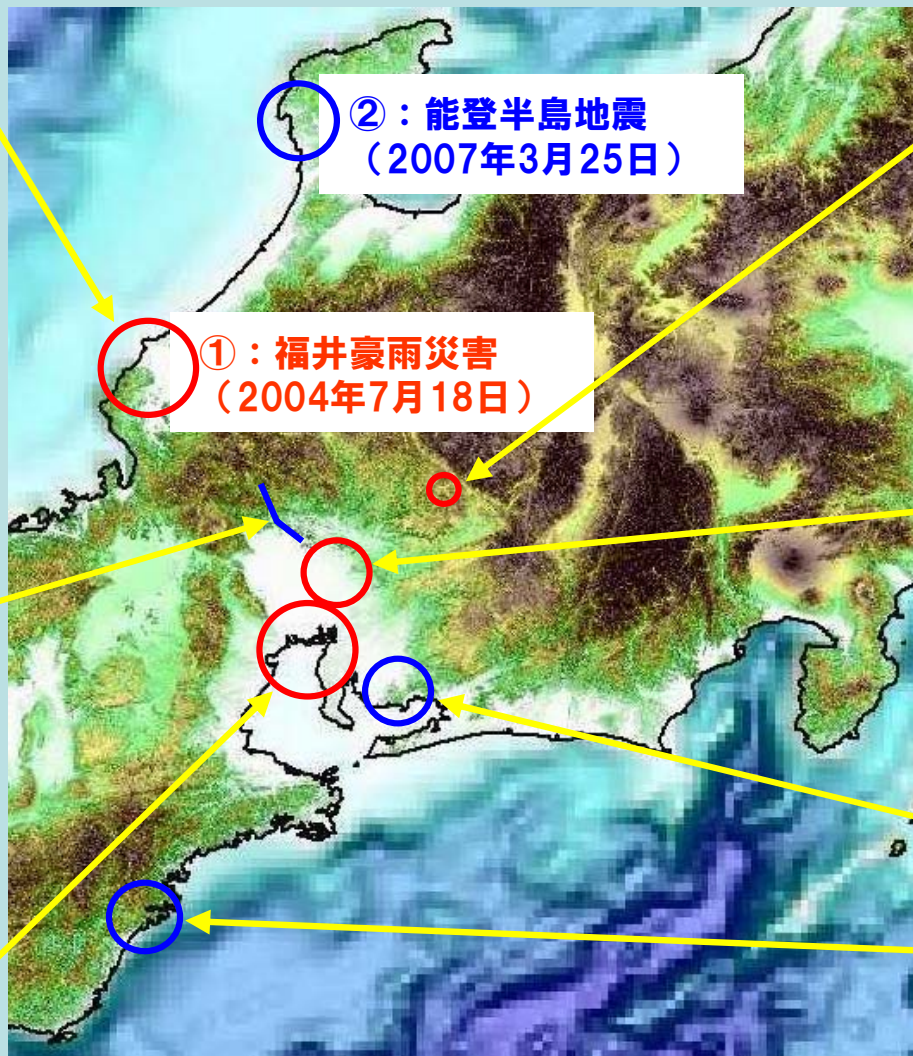
福井地震 (1948年6月28日)



濃尾地震 (1891年10月28日)
で地表に現れた根尾谷断層



伊勢湾台風 (1959年9月26日)



写真出典：
濃尾地震：本巢ロータリークラブ、文化財の照会、<http://homepage3.nifty.com/motosurc/dansou.htm>、アクセス年月日：2008.11.5
東南海地震：大規模災害対策研究機構、http://www.e-tsunami.com/what_photo1.htm、アクセス年月日：2008.11.5
福井地震：福井大学付属図書館、<http://www.flb.fukui-u.ac.jp/earthquake/index.htm>、アクセス年月日：2008.11.5
伊勢湾台風：恐ろしかった伊勢湾台風、<http://www.d1.dion.ne.jp/~kwx/isewan.htm>、アクセス年月日：2008.11.5
飛騨川バス転落事故：岐阜県総合防災ポータル、http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11117/saigai_siryu/1968hidagawbasu/saigai1.htm、アクセス年月日：2008.11.5
東海豪雨：disaster-1.net、岩手県立大学 牛山兼行准教授、www.disaster-1.net/photo/20000911/photo/p000913a.html、アクセス年月日：2008.11.5



▲国道41号河坂下山地区で観光バス2台が飛騨川に転落。死者104人。(白川町提供)

飛騨川バス転落事故 (1968年8月18日)



東海豪雨 (2000年9月11日-12日)
(2008年8月29日-30日)

三河地震 (1945年1月13日)



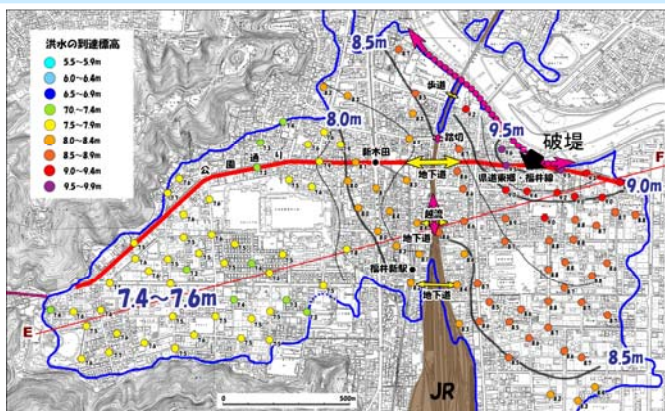
東南海地震 (1944年12月7日)

①：2004年福井豪雨災害

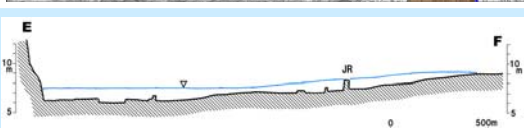
2004年7月18日未明から福井県嶺北地域に降り始めた梅雨末期の雨は次第に激しさを増し、早朝には1時間降水量が美山で96mm、福井で75mmに達するなど、記録的な豪雨となった。

この豪雨により足羽川の水位は急激に上昇し、中・上流域では所によっては濁流が谷幅一杯に広がって流下し、JR越美北線では7つの鉄道橋のうち5つで橋桁の落下、橋脚の転倒が発生した。また山地部では土石流も多数発生した。下流部に位置する福井市中心部では足羽川左岸堤防が幅50mにわたって決壊、濁流が住宅街へと流れ込んだ。

この豪雨による被害は死者・行方不明5名、全・半壊66世帯、床上床下浸水13,727世帯であった。



上写真：水田に残されていた巨礫
下写真：流失した鉄道橋



上図：破堤箇所から流れ込んだ濁流は、主に東西に伸びる県道を主な流路として西～南へと広がっていった。西へと広がった濁流は足羽山等に阻まれて、湖のように滞留した(下断面図)。洪水堆積物は、破堤地点付近では細粒砂を主体としていたが、破堤地点から離れるに従い、粘土質となっていく。

参考文献：
山本博文 (2005)：福井市街足羽川左岸および鯖江市河和田地区における浸水被害について、平成16年度新潟・福島、福井豪雨災害に関する調査研究、平成16年度科学研究費補助金(特別研究促進費(1))研究成果報告書、pp.121-136。

②：2007年能登半島地震

2007年3月25日9時41分、能登半島西方、深さ11kmを震源とするM6.9の地震が発生、輪島市鳳至町などでは震度6強を記録した。この地震による被害は、死者1名、重軽傷者は359名、全・半壊2,201棟等であった。

今回の地震では、震源が能登半島西岸近傍に位置し、深さが11kmと浅く、地震のマグニチュードが6.9と比較的大きいことから、半島西岸域での地殻変動(隆起・沈降)が予測された。そこで地震直後の3月27日から現地に入り、被害状況を調査するとともに、海岸部での調査を行った。その結果、震源域を中心に南北15kmにわたり、最大で40cm隆起していること、またその北側では約10cm沈降していること等が明らかとなった。

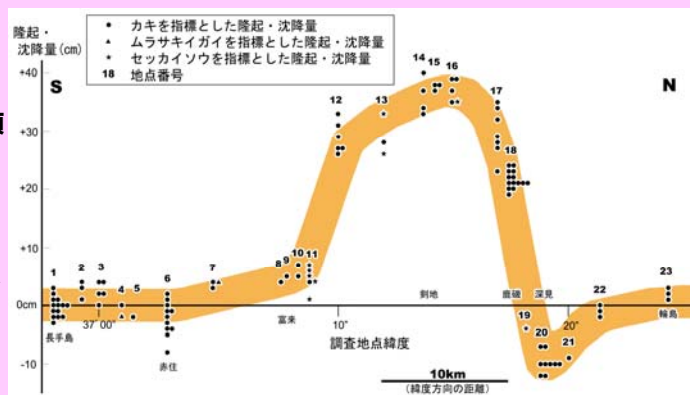


左上写真：輪島市道下地区の倒壊した住家



右上写真：約40cmの隆起により海水面上に顔を出したカキ。

下図：港の岸壁に付着したカキの高さから求めた隆起量。震源域から離れた長手島(図左端)を不動点とし、この地点のカキの海面からの高さ(各地点の高さを潮汐を補正した上で比較することにより、隆起量を求めた。ムラサキガイ、石灰藻等も補助的な示標として用いた。



参考文献：
山本博文・奥山大嗣・江戸慎吾 (2007)：生物指標からみた平成19年(2007年)能登半島地震における海岸隆起、福井大学地域環境研究教育センター紀要「日本海地域の自然と環境」、no.14, pp.33-46。